



第 294 回見学会・第 59 回包装情報ステーション 再生ポリプロピレン材料の耐候性評価

日 時 平成 29 年 3 月 14 日(火) 13:30～16:30
会 場 化学研究評価機構 会議室 東京都江東区東雲 2-11-17
参 加 費 JPI法人・個人会員の方:無料
定 員 30 名

スケジュール

①13:20～13:30 集合(現地)
②13:30～15:00 業務案内、講演
③15:10～16:00 施設見学
④16:00～16:30 質疑応答

講演内容

プラスチックの劣化は製品の破損原因の一つとして指摘されており、その評価・解析技術の開発についてのニーズは高い。しかしながら、劣化要因は多様でかつ複雑であり、また、品質管理や品質保証等の目的でプラスチックの耐久性をあらかじめ予測するための試験にも長期間を要する。例えば、耐候性評価についてもこれまで多くの取り組みがなされてきているが、材料のグレードまで考慮した明確なデータは極めて少なく、実際に使用するプラスチックの劣化を予測するために利用可能な手法やデータベースのような形では成果がとりまてられていないのが現状です。

そこで今回、プラスチックの劣化要因の中で耐候性に的を絞り、再生ポリプロピレンの劣化を評価することで、プラスチックの耐久性の予測精度向上に応用できるデータベース構築の一助とした。もとより、プラスチックの耐久性を一つの指標で判断することは困難でありかつリスクを伴うが、今後、耐熱性や耐薬品性、環境応力性など他の劣化要因のデータベースにつなげられれば、プラスチックの耐久性の予測に利用可能な手法として活用できると考えられることをご説明します。

講 師

(一財) 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 東京事業所 所長補佐 兼
高分子・製品安全試験課長 兼標準化事業室長 佐藤 圭祐 氏

見学先概要

弊機構 高分子試験・評価センターは、東京(見学先である東京都江東区東雲)・大阪(東大阪市)の2拠点あり、主な業務として理化学分析や物理特性試験をワンストップで実施しています。その他に東京は玩具安全試験、大阪では環境試験、疲労試験、性能試験、製品安全試験なども実施しております。厚生労働省の登録検査機関、製造物責任法の事故原因究明機関、JIS 原案作成団体として、また、試験所認定である ISO/IEC17025 を取得し、迅速で丁寧な対応、正確で信頼のあるデータを提供し、プラスチック材料、製品の普及、品質向上、品質管理、クレーム対策等に試験・検査を通じて安心・安全に貢献しております。

申 込 要 領

- ◆お申込は fax(03-3543-8970)にて先着順とさせていただきます。
- ◆試験機関・検査機関の方のご参加はご遠慮願います。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆当日は化学研究評価機構、東京事業所にてご集合宜しくお願い致します。(時間厳守)

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は『公益社団法人日本包装技術協会 包装情報ステーション』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

第 294 回見学会・第 59 回包装情報ステーション 参加申込書

参加を希望される場合は、下記申込書にご記入の上、本紙をFAXして下さい(FAX 番号 03-3543-8970)

会 社 名			法人会員 ・ 個人会員	
所 在 地	(〒 -)	TEL		
		FAX		
参 加 者	①	(氏 名)	(所属役職)	
		(e-mail)	@	
	②	(氏 名)	(所属役職)	
		(e-mail)	@	

お問合せ先: 〒104-0045 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F TEL: 03-3543-1189 担当: 佐藤

JAPAN PACKAGING INSTITUTE